



ふれあい市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

熱中症から身を守りましょう！

最初にうれしく、誇らしい2つのお知らせから。(1) 都美人酒造(株)の「都美人 太陽」が、世界的なワイン品評会、インターナショナル・ワイン・チャレンジ日本酒部門の最優秀賞に選ばれました。(2) 淡路島牛乳(株)の「淡路島カチョカヴァロ」が、日本チーズアートフロマージュ協会のチーズコンクール「パスタフィラータ熟成部門」で最高金賞に選ばれました。

いずれも、南あわじ市の産品が国内外に認められたビッグニュースでした。

もうひとつお知らせを。

本市では高齢者等元気活躍推進事業に取り組んでいますが、南あわじ市シルバー人材センターが本事業と連携して「ちょこっとサポートサービス」を始めます。自宅の掃除やゴミ出し、お墓掃除など1回

15分～30分程度ちょこっとお手伝いをします。準備が出来た地域から徐々に拡大しますので、お手伝いしたい方、されたい方ともに、ご関心があれば、シルバー人材センターへお問合せください。

話題はガラッと変わりますが、熱中症による被害が全国各地で報告されています。南あわじ市でも、頻りに環境省から「熱中症警戒アラート」が発出され、熱中症への警戒が呼びかけられています。

特に高齢者は、暑さやのどの渇きを感じにくく、居室が高温になっても冷房や水分補給を忘れがちです。また、小さな子どもも、体内に熱がこもりやすい傾向にあります。夏場は熱中症を念頭に高齢者や子どもの様子をよく観察する必要があります。

熱中症の症状(めまい、頭痛、吐き気など)が現れた場合、また、熱中症が疑われる人を見かけた場合は、まず、涼しい場所での休憩、水分補給、首回りや脇の下で身体を冷やすなどの対処を行い、症状が改善しない場合は、医療機関を受診することが大切です。

もし、外出時に熱中症の危険を感じたら、市の図書館や公民館などを、休憩の場として活用下さい。

熱中症から身を守り、この夏を安全に乗り越えていきましょう！

田植え後はさなぶり祭恒例の泥相撲を行い、学年・学科を越えて参加者全員で大いに盛り上がりました。

田植え後は大学食堂に場所を移し、バーベキューを行いました。岡山のキャンパスから参加した留学生や地域の皆さまも交えて、100人以上が参加する貴重な交流の機会となりました。

今後も、地域の伝統と文化に触れることで学生たちの成長につながり、また南あわじ市民の皆さまも楽しめるような実りのあるイベントにしていけたらと思います。市民の皆さまには温かく見守っていただけますと幸いです。

オープンキャンパスのお知らせ

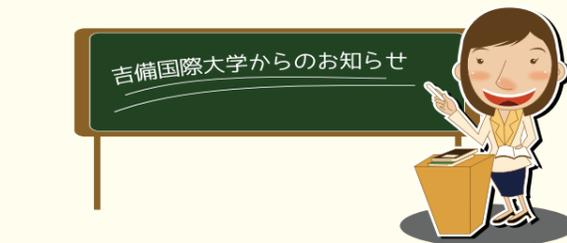
日時 8月4日(日)・25日(日) 11:00～15:30

場所 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス

内容 学科紹介、ミニ講義、個別相談など

申込み・問合せ(要予約)

大学ホームページからの申込みもしくは電話予約 入試広報室フリーダイヤル☎0120-25-9944



さなぶり祭を盛大に開催

6月22日、水田の神様に豊作を祈願し田植えの労をねぎらう「さなぶり祭」を吉備国際大学園場にて開催しました。地域創成農学科1年生の実習でもあるこの行事ですが、1年生だけでなく、同学科の2～4年生や海洋



田植えを行う学生ら

水産生物学科の学生たちも多数参加しました。みんなで協力し合って手作業で田植えを行うことによって、とても意義深い時間となりました。



泉谷珠洲市長(左)と守本市長

能登半島地震 集まった寄附金を被災地へ

した費用を除いた700万円を珠洲市の支援に充てることとしました。

珠洲市役所では寄附金目録の贈呈式が行われ、守本市長から、泉谷満寿裕珠洲市長に寄附金の目録が手渡されました。泉谷市長は「発災後、いち早くトイレカーを届けていただいただけでも感謝している。それに加えて、多額の支援をいただいて本当にありがたい」と話しました。

守本市長は被災地の視察も行い、「災害への備えとして、家屋の耐震化や災害リスクの高い地域の把握のほか、被災時における応援を受け入れる体制をしっかりと作っておくことが重要」と話しました。



視察を行う守本市長

守本市長珠洲市訪問の動画はこちらからご覧ください



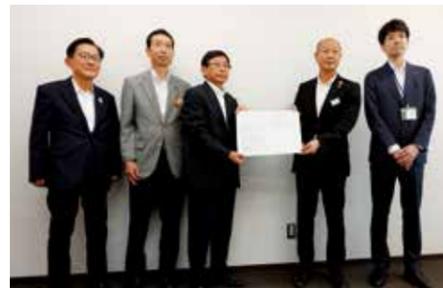
啓発活動を行う市推進委員会のメンバーと園児たち

社会を明るくする運動 犯罪のない、安全で安心な社会を目指して

「社会を明るくする運動」南あわじ市推進委員会が7月13日、ショッピングセンター・シーパで同運動の啓発イベントを行いました。同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更正について理解を深め、安全・安心な地域社会を築くことを目的としています。毎年7月は同運動強調月

間・再発防止月間となっております。全国的に啓発活動が展開されています。イベントでは、南あわじ市保護司会の小島一会長から市推進委員長の守本市長に、内閣総理大臣のメッセージが伝達されました。また、湊幼稚園の園児16人が、買い物に訪れた人に声掛けをしながら、啓発グッズを配布しました。

関空・神戸空港の飛行経路見直し 淡路島3市長が要望書を提出



兵庫県と神戸市に要望書を手渡す3市長(6月21日)

関西国際空港および神戸空港の発着枠拡大に伴う飛行経路の見直しに対し、6月21日に淡路島3市長が兵庫県と神戸市に要望書を提出しました。

3市長は、住民の生活環境への負担軽減に関する取り組み、環境監視体制の強化、地域振興策への取り組みなどを求めました。これを受け、6月28日に

関係者が出席する協議が開催。3市からの要望に対し、県と神戸市から「国や関係機関と調整し、確実に実施するよう取り組み」と回答がありました。

3市からの要望書と県および神戸市からの回答書は市ホームページでご覧いただけます。



「要望書」掲載ページ



「回答書」掲載ページ